

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「フランクリン・templトン 米国政府証券ファンド（愛称：メイフラワー号）」は2021年3月15日に第227期の決算を行いました。当ファンドは、フランクリン・templトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、フランクリン・templトン・グループが運用する複数の外国籍ファンドに投資することにより、実質的に米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に投資を行います。当作成期におきましても、それに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・templトン・インベストメンツ株式会社は、2021年4月1日にレッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社と合併し、フランクリン・templトン・ジャパン株式会社となる予定です。

### 第227期末(2021年3月15日)

基準価額	7,297円
純資産総額	17,920百万円
第222期～第227期	
騰落率	2.4%
分配金(税込み)合計	54円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

# フランクリン・templトン 米国政府証券ファンド (愛称:メイフラワー号)

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第222期(決算日2020年10月15日)  
第223期(決算日2020年11月16日)  
第224期(決算日2020年12月15日)  
第225期(決算日2021年1月15日)  
第226期(決算日2021年2月15日)  
第227期(決算日2021年3月15日)

作成対象期間：2020年9月16日～2021年3月15日



FRANKLIN  
TEMPLETON

フランクリン・templトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

<お問い合わせ先>

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00～17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

ホームページ：<https://www.franklintempleton.co.jp/>

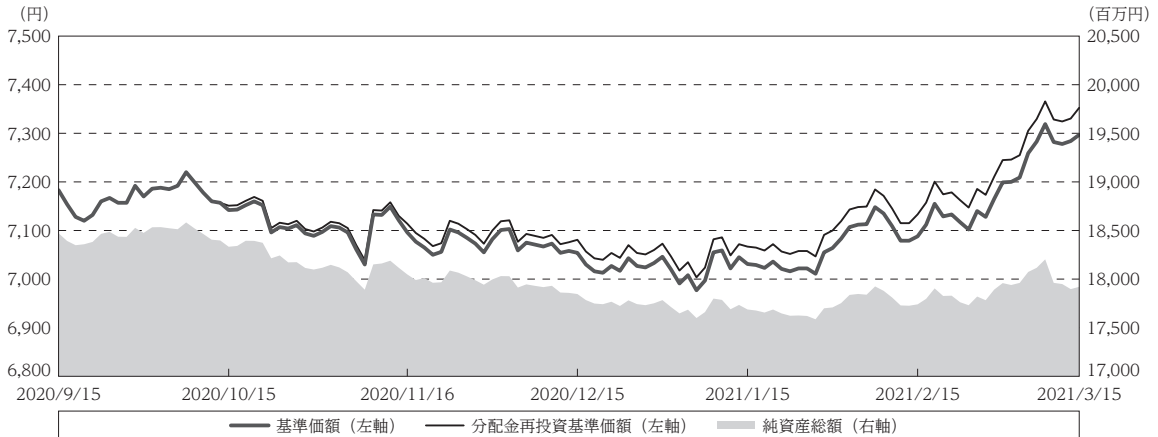
お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。上記<お問い合わせ先>ホームページの「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドの詳細ページにおいて「資料・レポート」の中から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付を請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2020年9月16日～2021年3月15日)



第227期首：7,183円

第227期末：7,297円 (既払分配金(税込み):54円)

騰落率：2.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年9月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドがマザーファンドを通じて投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」)を通じて投資した投資対象ファンドである「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド(バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド(ルクセンブルグ籍投資法人)」の分配金再投資基準価額はやや値下がりしたものの、米ドルが対円で上昇したことなどから、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「**■投資環境**」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券(ジニーメイ・パス・スルー証券等)からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券(ジニーメイ・パス・スルー証券等)の価格変動

1万口当たりの費用明細

(2020年9月16日～2021年3月15日)

項目	第222期～第227期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27	0.382	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(10)	(0.142)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(15)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = $\frac{\text{【作成期間のその他費用】}}{\text{【作成期間の平均受益権口数】}}$
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.000)	その他費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	27	0.385	
作成期間の平均基準価額は、7,092円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。  
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要<ご参考>」に表示しております。

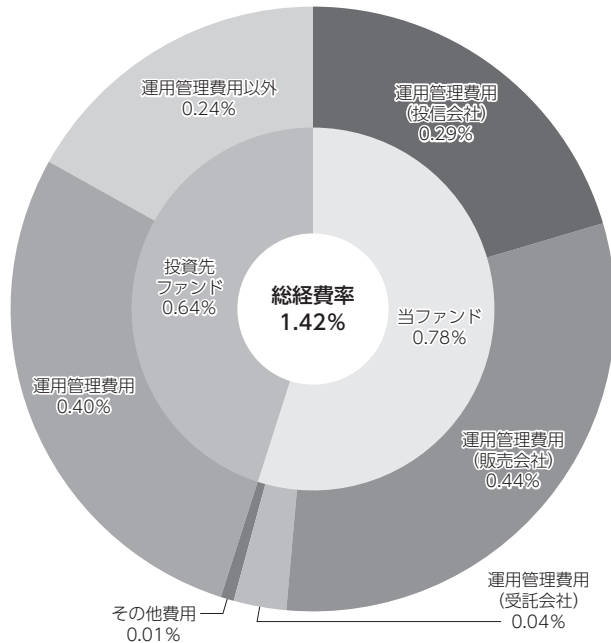
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.42%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.42
①当ファンドの費用の比率	0.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年3月15日～2021年3月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2016年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年3月15日 決算日	2017年3月15日 決算日	2018年3月15日 決算日	2019年3月15日 決算日	2020年3月16日 決算日	2021年3月15日 決算日
基準価額 (円)	7,948	7,759	6,994	7,364	7,189	7,297
期間分配金合計(税込み) (円)	—	152	154	153	156	124
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.4	△ 8.0	7.5	△ 0.3	3.3
純資産総額 (百万円)	31,983	27,599	23,119	21,971	19,087	17,920

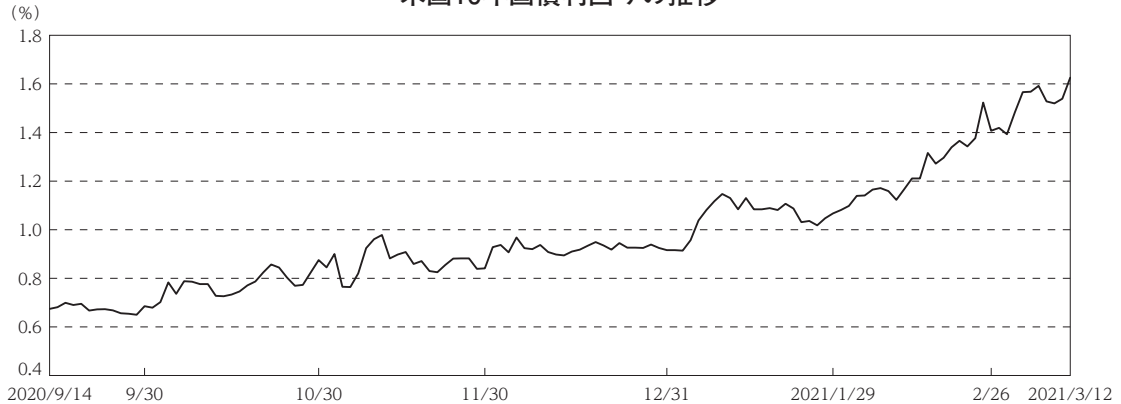
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、フランクリン・テンプルトン・グループが運用する複数の外国籍ファンドに投資します。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 投資環境

(2020年9月16日～2021年3月15日)

(米国債券市場とジニーメイ・パス・スルー証券市場)

## 米国10年国債利回りの推移



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当作成期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものです。

米国債券市場では、米国10年国債利回りは当作成期首の0.6%台から1.6%台まで上昇（価格は下落）して当作成期末を迎えました。

当作成期首から2020年12月末にかけては、新型コロナウイルス向けのワクチン開発進展や、11月に実施された米国大統領選挙でバイデン氏が勝利したことで、同氏が公約に掲げている労働者支援や環境投資関連によって歳出が拡大し、国債増発に繋がるとの観測から、やや利回りは上昇しましたが、新型コロナウイルス感染が再拡大する中で発表された経済指標が軟調となると、利回りが低下する場面もありました。2021年に入り、1月に行われたジョージア州での米連邦議会上院の2議席を巡る決選投票で民主党候補が2議席を制し、民主党が上下両院の多数党になったことで、追加財政出動観測が高まり、同月には2020年3月以来となる1.0%を上回る水準となりました。その後も、追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種普及による景気回復に対する期待などから、利回りは上昇基調となり、1.6%台まで上昇して当作成期末を迎えました。3月11日にバイデン米大統領は、総額1.9兆米ドル規模の追加経済対策法案に署名し、法案は成立しました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は下落しました。住宅ローン金利の主要な指標金利のひとつであるフレディマック30年（固定）金利は上昇しました。住宅ローンの借り換え指数は上昇しました。

## (外国為替市場)

## 為替レート (円/米ドル) の推移



※為替レートは、三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

当作成期、米ドルの対円相場は当作成期首の1米ドル105円台後半から109円台前半へとドル高円安となりました。

当作成期首から欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどを受けてドル安基調となる中、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が11月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）後の記者会見で、財政・金融政策による追加支援の必要性について言及した場面では1米ドル103円台までドル安円高が進行しました。さらにその後も、2021年1月初めにはバイデン氏の大統領選挙勝利確定に抗議するデモ隊の一部が暴徒化し、米連邦議会議事堂に乱入して一時占拠するという前代未聞の出来事が発生したことなどから米ドルが売られ、1米ドル102円台までドル安円高が進行する場面もありましたが、民主党主導による追加財政刺激策への期待感から米国債利回りが上昇する中で米ドルも買い戻され、さらに発表された米経済指標が市場予想を上回る内容となったことなどを受けて、2月初めには再び1米ドル105円台までドル高円安が進行しました。3月には、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種普及による景気回復期待などから米国の長期金利が上昇したことなどをを受け、米ドルは上昇トレンドを維持し、結局米ドルの対円相場は当作成期首よりもドル高円安の1米ドル109円台前半で当作成期を終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2020年9月16日～2021年3月15日)

## (フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称: メイフラワー号))

運用の基本方針にもとづき、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行いました。

当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は99.0%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が69.4%、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が30.2%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

## (フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム\*のの違いによる証券価格形成に着目した投資では、当作成期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%のクーポン\*\*を持つ証券の比率が最も大きくなっていますが、当運用期間においては2.0%から3.0%のクーポンを持つ証券に追加投資を行った一方で、3.5%のクーポンを持つ証券の比率をやや引き下げました。

\*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

\*\*クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。



**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2020年9月16日～2021年3月15日)

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

**分配金**

(2020年9月16日～2021年3月15日)

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。

なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日
当期分配金	9	9	9	9	9	9
(対基準価額比率)	0.126%	0.127%	0.127%	0.128%	0.127%	0.123%
当期の収益	6	7	7	9	9	9
当期の収益以外	2	1	1	—	—	—
翌期繰越分配対象額	795	793	792	792	794	796

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。米国における外国人投資家への税制優遇措置継続の確認がとれていることに伴い、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への配分は分配金水準や資金フローなどを総合的に勘案して判断する予定です。なお、今後も金融制度、税制等の動向を注視してまいります。

### (フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2021年2月末時点において、米国内債利回りが5年債、10年債でそれぞれ0.75%、1.44%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは1.81%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

当作成期首から2021年初めにかけては、エージェンシーMBSのうち約8割のMBSにおいてクーポンが利回り水準より0.5%以上高い水準となっていました。その後の金利上昇によって足元ではその割合は約6割にまで低下しており、市場にはプラス材料となっています。しかし、借り換えの申請件数は依然として高水準となっており、繰り上げ返済は今後3ヵ月は上昇傾向を示すとみています。指数ベースでのCPR(年率ベースでの繰上償還比率)は今後3-6ヵ月に亘り28-30%程度を維持した後、20%台前半まで低下するものと予想します。2020年3月半ば以降2021年2月末にかけ、FRBは1.7兆米ドルに及ぶMBSの購入を実施し、同月末にはエージェンシーMBS市場の30%程度となる2.17兆米ドルを保有しています。

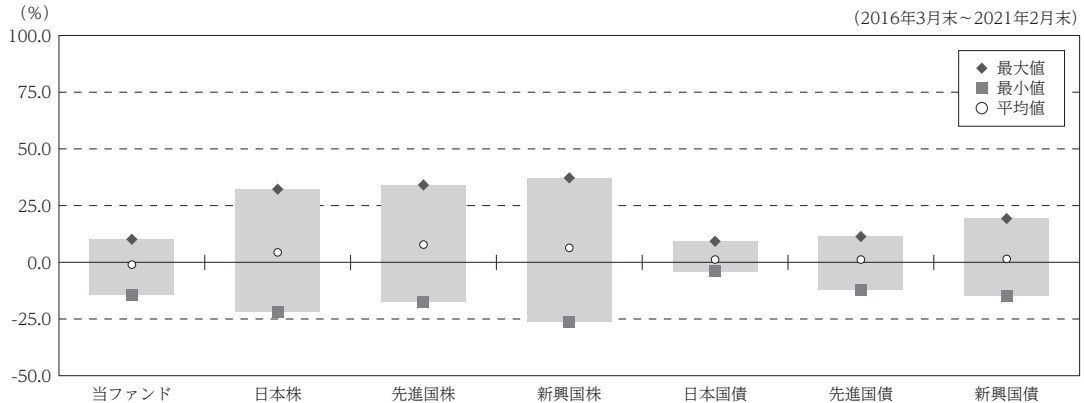
ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国内債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値とのかい離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド受益証券
	フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)</li> <li>・フランクリン・templton・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)</li> <li>・フランクリン・templton U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド (バミューダ籍投資法人)</li> </ul>
運用方法	主としてフランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド受益証券の組入れは高位を維持することを基本とします。	
分配方針	毎月15日（ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-1.0	4.4	7.8	6.4	1.2	1.2	1.5
最大値	10.2	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	-14.3	-22.0	-17.5	-26.3	-4.0	-12.3	-15.0

2016年3月から2021年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、委託会社で円換算しています。

代表的な資産クラスの指数の著作権等についてはこの運用報告書の最後に記載してありますので、ご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2021年3月15日現在)

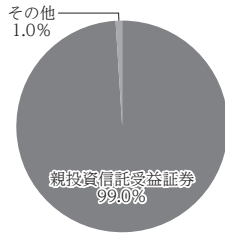
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第227期末
	%
フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド	99.0
組入銘柄数	1銘柄

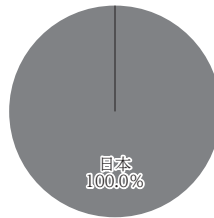
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

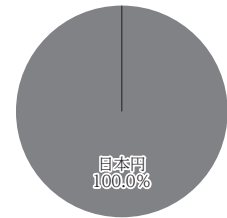
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

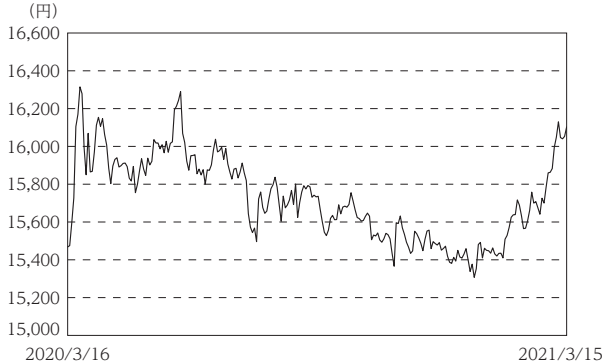
項 目	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末	第227期末
	2020年10月15日	2020年11月16日	2020年12月15日	2021年1月15日	2021年2月15日	2021年3月15日
純 資 産 総 額	18,332,795,195円	18,047,856,054円	17,846,361,244円	17,687,451,136円	17,740,257,712円	17,920,685,335円
受 益 権 総 口 数	25,670,309,758口	25,433,747,992口	25,298,782,843口	25,157,728,449口	25,028,945,457口	24,559,064,126口
1万口当たり基準価額	7,142円	7,096円	7,054円	7,031円	7,088円	7,297円

(注) 当作成期間(第222期~第227期)中における追加設定元本額は833,741,513円、同解約元本額は1,990,563,510円です。

## 組入上位ファンドの概要

### フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド (2020年3月17日～2021年3月15日)

#### ○基準価額の推移



#### ○1万口当たりの費用明細

(2020年3月17日～2021年3月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、15,686円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

#### ○組入上位ファンド

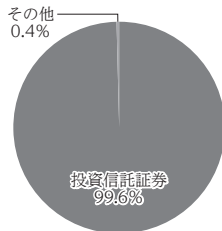
(2021年3月15日現在)

銘 柄 名	第19期末
	%
フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	69.4
フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド	30.2
組入銘柄数	2銘柄

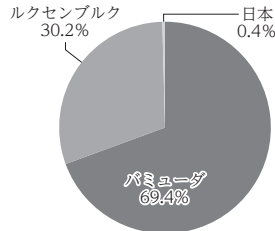
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

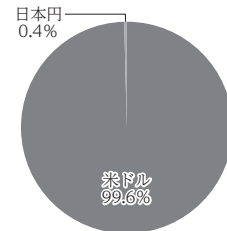
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

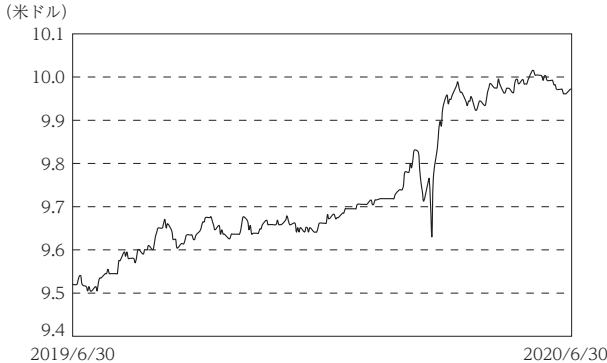
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ—フランクリン U.S.ガバメント・ファンド  
(2019年7月1日～2020年6月30日)

○基準価額の推移



(注) 当ファンドが投資対象とするClass I (Mdis) USDの分配金再投資基準価額です。

○上位10銘柄

(2020年6月30日現在)

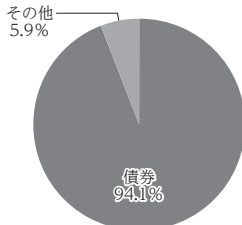
銘柄名	比率
	%
GNMA II, SF, 3.00%, 10/20/44 - 05/20/50	21.6
GNMA II, SF, 3.50%, 07/20/42 - 02/20/50	18.7
GNMA II, SF, 3.00%, 06/20/50	10.0
GNMA II, 3.50%, 05/20/50	9.5
GNMA II, SF, 4.00%, 05/20/40 - 12/20/49	6.4
GNMA II, SF, 2.50%, 05/20/50 - 06/02/50	5.9
GNMA, SF, 5.00%, 07/15/33 - 08/15/40	3.5
GNMA, SF, 4.00%, 10/15/40 - 08/15/46	3.1
GNMA II, SF, 4.50%, 05/20/33 - 12/20/48	3.0
GNMA, SF, 3.00%, 07/20/45	1.9
組入銘柄数	43銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

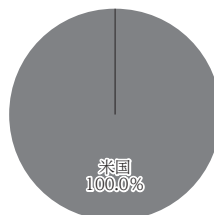
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 組入上位銘柄および銘柄数は、当該投資対象ファンドの入手可能な Audited Annual Report を基に作成しており、クーポンや償還日によって集約されているものがあります。

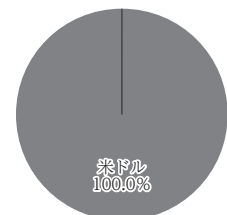
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年6月30日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○費用の明細

(2019年7月1日～2020年6月30日)

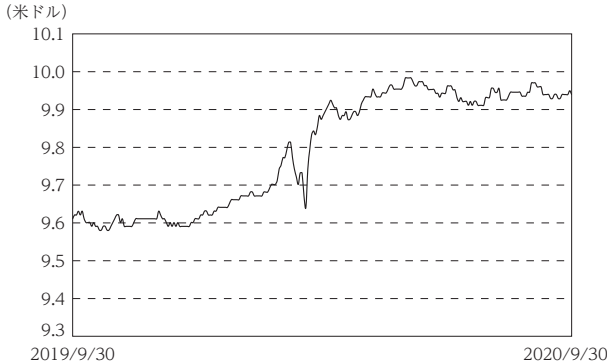
運用報酬	0.40%
管理会社報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.20%
合計	0.60%

(注) 当ファンドが投資対象とするClass I (Mdis) USDの数値です。

(注) 1万円当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

<ご参考> フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド  
(2019年10月1日～2020年9月30日)

○基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額です。

○上位10銘柄

(2020年9月30日現在)

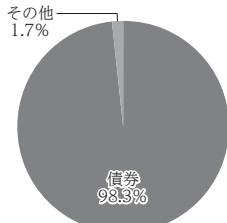
銘柄名	比率
	%
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 11/20/47	7.9
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 7/20/50	6.7
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 2/20/50	6.5
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 9/20/47	3.8
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5.5%, 1/15/32 - 6/15/34	3.7
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 6/20/50	3.4
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5%, 4/15/33 - 5/15/34	3.0
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5%, 9/20/33	2.8
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 10/20/47	2.7
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 7/20/50	2.7
組入銘柄数	88銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

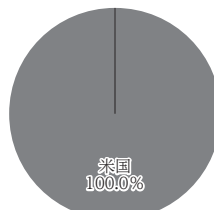
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 組上位銘柄および銘柄数は、当該投資対象ファンドの入手可能な Financial Statements を基に作成しており、クーポンや償還日によって集約されているものがあります。

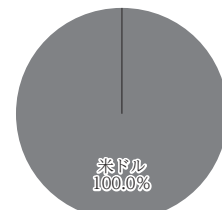
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年9月30日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○費用の明細

(2019年10月1日～2020年9月30日)

運用報酬	0.40%
管理事務代行報酬、名義書換事務代行報酬、 保管銀行報酬、監査費用等	0.26%
合計	0.66%

(注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。



### <代表的な資産クラスの指数の著作権等について>

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、本商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

#### ○MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

#### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債を用いて行われるフランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属しています。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。  
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr. は、  
“With money and financial planning, prudence comes first.”  
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)  
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、  
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、  
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、  
ご投資家の皆様にとって、  
フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する  
信頼と安心の象徴となっております。